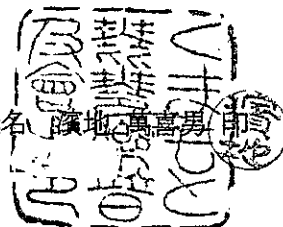


令和5年3月7日

熊本市長 大西 一史 様

住所 熊本市東区
団体名 くまもと琵琶楽普及会
代表者 職名 世話人代表 氏名 廣地 萬喜男



熊本市市民公益活動支援助成金実績報告書

令和4年8月29日付け指令(地活)第37号により、熊本市市民公益活動支援助成金の交付決定を受けました事業の実績について、熊本市市民公益活動支援基金実施要綱第21条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

記

1 助成事業名

熊本市市民公益活動支援基金「公益社団法人熊本法人会ファンド」助成事業
伝統文化の継承のために ～琵琶楽の魅力を伝える～

2 助成事業の実施期間

令和4年4月1日～令和5年3月5日

3 助成事業の内容

- ① 熊本地震復興祈念 筑前琵琶のしらべ(R4.5.21 熊本市国際交流会館)
熊本地震で亡くなられた方のご冥福を祈り県内の更なる復興を祈念し、優れた演奏家による臨場感あふれる演奏を鑑賞いただくとともに、その記憶や教訓が生かされるよう会場内でパネル展示を行う。
- ② ワークショップ 琵琶楽に親しむ(熊本市市民活動支援センターあいぽーと会議室/毎月実施)
日頃、接することが稀な琵琶楽に身近に親しみ楽しんでいただくため、琵琶に触れる演奏体験、琵琶のお話し(その起源や歴史・琵琶の特長等)、会員による琵琶曲演奏を聴いていただく機会を提供する。
- ③ 会員による琵琶楽演奏会(R4.10.22 くまもと県民交流館パワ)
琵琶曲の習得に勤しむ会員の技術力向上や後継者の育成を図るため成果を発表する場を設け、今後の事業展開に生かす。
- ④ ボランティア演奏活動(熊本市内介護老人保健福祉施設等)
会員が高齢者施設等を訪問し、琵琶の音色に合わせ懐かしい童謡を歌っていただいたり琵琶曲や琵琶のお話しを聴いていただき、心の安らぎや楽しさ、明日の元気付けとなるよう、また、新型コロナ感染状況の拡大の影響により、リスクの少ないDVD配布による施設での観覧依頼を行う。

4 事業の成果

- ① 熊本地震復興祈念 筑前琵琶のしらべ(参加者130名、別紙74参照)
古典文学の平家物語や方丈記から元暦の大地震の様子、熊本地震からの復興に向け郷土を題材とする曲の演奏とともにわかり易い解説、舞台の効果的演出に努め、参加者の皆様には、琵琶楽の魅力を十分堪能いただいた。会場内ロビーでのパネル展示(6枚)も地震の記憶の風化を防ぐ一助となった。また、この公演のDVDも15枚を作製し、助成元、後援先、協力団体等に配布した。

② ワークショップ 琵琶楽に親しむ (14回実施参加136名、別紙アンケート参照)

参加者の皆様に、興味を持って参加いただけるように平家物語等の文学作品、郷土に因んだり季節に応じた曲を交え鑑賞いただけるよう努めた。参加者からは、琵琶の種類や音色・物語に様々な感想が寄せられた。若い方々への関心を高めるため夏休み中に「こども伝統文化体験教室」にも取り組んだ。

③ 会員による琵琶楽演奏会(参加者 25 名、別紙アンケート参照)

初めての開催で会員は緊張しながらも、練習の成果を発揮することができ、この貴重な経験をとおり、活動への手ごたえを感じ、その後のワークショップやボランティア演奏活動に生かすことが出来た。

④ ボランティア演奏活動(会員訪問 6 施設 29 回対象者数 790 名、DVD 視聴 34 施設 90 回対象者数 1,333 名)

新型コロナ感染拡大の影響により、訪問活動が十分できない状況もあり、高齢者施設へのリスクの少ないDVD配布の活用により、DVD観覧に多くの要望が寄せられた。アンケートには、訪問活動で気づけなかった貴重な御意見もあり今後の訪問活動に役立てていきたい。

5 助成事業の実施状況

- (1) 事業収支決算書 (様式第16号)
- (2) 事業の経過又は成果を証する書類等
- (3) その他参考となる資料

事業収支決算書

◆収入決算

項 目	金 額	内 訳
会費	0	
当該事業による収益	149,500	入場料 前売券1,500円×93枚=139,500円 当日券2,000円×5枚=10,000円
当該事業に対する寄附・協賛金	0	
その他の自己資金	1,692	
当該事業に対する助成金額	250,000	
その他の補助金、助成金等【D】	0	
合 計	401,192	

◆支出決算(事業別)

事業名 支出費目		事業1	事業2	事業3	事業4	合計
		熊本地震復興祈念 筑前琵琶のしらべ	ワークショップ 琵琶楽に親しむ	会員による琵琶 音楽演奏会	ボランティア 演奏活動	
助 成 対 象 経 費	人件費	4,000				4,000
	報償費	120,000				120,000
	旅費	58,986		2,000	3,374	64,360
	人件費等合計【A】	182,986		2,000	3,374	188,360
	役務費	31,092	5,039	4,200	3,600	43,931
	使用料・賃借料	71,350		17,270		88,620
	事務・消耗品費	11,464	6,739	5,491	20	23,714
	委託費	45,070				45,070
	合 計	341,962	11,778	28,961	6,994	389,695
助 成	弁当代	4,273				4,273

【☆】

対象外経費	写真代・送料	2,790				2,790
	パソコン代		2,256	1,089	1,089	4,434
	合 計 (助成対象外経費)	7,063	2,256	1,089	1,089	11,497
				総事業費		401,192

助成金額上限額（助成種別：ステップアップ 助成）

〔 助成対象経費【☆】 389,695 - 控除額0【E】 〕 × 2/3 = 250,000

※控除額…超過人件費（人件費等の合計が助成対象経費の 1/2 を超えた部分）とその他助成金の合計

人件費等の合計【A】	188,360	→	超過人件費【C】※	-6,487
助成対象経費の 1/2【B】	194,847		その他助成金【D】	0
超過人件費【A-B】…【C】	-6,487		控除額【E】	0

※マイナスの場合は 0 円

◆支出内訳（事業別）

事業1 〔熊本地震復興祈念 筑前琵琶のしらべ〕

人件費	4,000	臨時スタッフ人件費(受付補助) @1,000円×2時間×2人
報償費	120,000	①出演料川村旭芳氏100,000円 ②司会謝礼20,000円
旅費	58,986	①出演者交通費48,640円(新幹線35,300円、タクシー代6,500円、宿泊代6,840円) ②運営スタッフ交通費5,440円 ③広報用ガソリン代2,856円 ④駐車場代2,050円
役務費	31,092	①広報費(舞台情報誌ドコサ掲載)15,220円 ②入場券販売手数料1,500円×34枚×10%=5,100円(熊日プレガイト) ③ひかりサネジ利用料1,100円(熊日プレガイト) ④郵便切手代9,672円(案内状送付・出演者スタッフ会員連絡用) 切手代87通7,662円、ハガキ3通1,110円 マート券5通900円 ⑤衣装ケース運搬費0円
使用料・賃借料	71,350	ホール使用料30,000円、付属施設使用料41,350円
事務・消耗品費	11,464	①企画/資料作成用パソコン代6,072円(4色1セット4,224円 黒1本1,848円) ②資料作成印刷代770円 ③コピー用紙代885円 ④手指消毒薬品及び事務用品費(封筒等消耗品代)2,948円 ⑤カット台紙429円 ⑥コピー代70円 ⑦DVDリーフレット台紙290円
委託費	45,070	印刷(ポスター100枚/チラシ1,600枚/プログラム200枚/リーフレット200枚等)20,070円 配布用DVD制作代25,000円
合 計	341,962	

事業2 〔ワークショップ琵琶楽に親しむ〕

人件費	0	
報償費	0	
旅費	0	
役務費	5,039	郵便切手・ハガキ代等 5,039円(案内状送付・出演者スタッフ会員連絡用) (郵便切手代22通1,826円、ハガキ代51通3,213円)
使用料・賃借料	0	

事務・ 消耗品費	6,739	①演奏体験用 琵琶糸代 5 絃の糸 3 本 1,121 円 ②ﾌｼﾞ・資料作成代 4,408 円 (ﾊﾟﾝﾌｯﾄ代黒 1 本 1,848 円、印刷代 2,280、ｺﾋﾟｰ用紙代 280 円) ③封筒、ﾌﾗｯﾄﾌｧｲﾙ、ﾌｧｲﾙ用ﾎｰﾙﾍﾟﾝ、掲示用ﾏｯｸ等消耗品費 1,210 円 /計 6,739 円
委託費	0	
合 計	11,778	

業 3 〔会員による琵琶楽演奏会〕

人件費	0	
報償費	0	
旅費	2,000	出演者(2人)スタッフ(2名)交通費 500 円×4 人
役務費	4,200	郵便切手・ﾊｳﾞｷ代 4,200 円(案内状送付・出演者ｽﾀｯﾌ会員連絡用) 郵便切手代 19 通 1,554 円、ﾊｳﾞｷ代 42 通 2,646 円、 計 4,200 円
使用料・ 賃借料	17,270	ﾊﾟﾚ10 階和室(午前・午後)・多目的ｽﾀｼﾞｵ(更衣及び控室午後)使用料
事務・ 消耗品費	5,491	①ﾌｼﾞ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ・資料作成代 5,381 円(ﾊﾟﾝﾌｯﾄ代 4 色 1 セット 4,224 円、印刷代 817 円、ｺﾋﾟｰ用紙代 280 円、ｺﾋﾟｰ代 60 円)②封筒等消耗品費 110 円 計 5,491 円
委託費	0	
合 計	28,961	

事業 4 〔ボランティア演奏活動〕

人件費	0	
報償費	0	
旅 費	3,374	①訪問用ガソリン代 3,374 円
役務費	3,600	DVD配布による施設での視聴依頼 ﾏｰﾓﾚﾀｰ180円×20通=3,600円
使用料・ 賃借料	0	
事務・消 耗品費	20	ｺﾋﾟｰ代 20 円
委託費	0	
合 計	6,994	

事業報告書

実施年度	令和4年度
事業名	熊本市市民公益活動支援基金「公益社団法人熊本法人会ファンド」助成事業 伝統文化の継承のために ～琵琶楽の魅力を伝える～
事業期間	令和4年4月1日～令和5年3月5日
事業の目的	日頃、接することが稀な琵琶楽の魅力を広く伝えていくために、熊本市民や県民の皆様を対象に鑑賞できる場を提供すること等により琵琶楽の普及・啓発を図り、地域文化の創造に寄与する。また、熊本地震からの復興を祈念する。
具体的な事業内容	1 熊本地震復興祈念 筑前琵琶のしらべ 入場者数130名 平成28年の熊本地震により亡くなられた方々のご冥福を祈り、更なる県内の復興を祈念し、鎮魂の楽器“琵琶”で鑑賞いただく。また、熊本地震から既に5年が経過しその風化も懸念されており、記憶や教訓が生かされるように熊本地震関連の資料を会場内にパネル展示も行った。130名の入場者があった。 この公演のDVDを15枚作製し、助成元、後援先、協力団体等へ配布した。 ①日 時 令和4年5月21日(土) 14時開演 16時終演 ②場 所 熊本市国際交流会館大ホール(熊本市中央区花畑町4番18号) ③内 容 演奏者 神戸在住(阪神淡路大震災を経験)筑前琵琶奏者 川村旭芳 演 題 ◆『平家物語』より「祇園精舎」「敦盛」 ◆鴨長明『方丈記』より「げんりやく おほなる元暦の大地震」 ◆こうじょしらぎく「孝女白菊」 ④入場者 130名(一般93名、招待16、学生4、会員等17名) ⑤入場料 一般 前売り1,500円/当日2,000円 学生無料(要事前申込) ⑥主 催 くまもと琵琶楽普及会 ⑦後 援 熊本市 熊本市教育委員会 南阿蘇村 南阿蘇村教育委員会

⑧協 力 孝女白菊の里づくりの会

⑨広 報 新聞への掲載3社(熊日(4/25)・朝日(5/12)・西日本新聞(5/17))、熊本の文化情報誌ドコサ掲載4・5月号、ひかりサテジ利用(R4.4.1~R4.5.21びふれす広場自動販売機横(熊日プレイバト))、ポスター(83カ所)100枚やチラシ(63カ所)1,600枚を熊本市内及び近郊の公立文化施設、熊本市の公民館・コミュニティセンター等熊本市施設や県の施設、県内大学等に掲示・配布や熊本市コミュニティボードに掲載(期間4/1~4/27、5/1~5/27)・あいぽーと通信5・6月号くまもと・わくわく基金情報「令和4年度くまもと・わくわく基金助成事業」への掲載、愛好者等へ案内85名

⑩その他 プログラム及方丈記「元暦の大地震」詞章リーフレット配布、パネル展示(熊本地震関連6枚・当会の活動状況1枚・出演者紹介1枚等)、アンケート実施(回答33名)別添資料のとおり。

2 ワークショップ 琵琶楽に親しむ 14回実施 参加136名

琵琶楽をより身近に楽しんでいただくために、(日本最古の楽器“琵琶”に)「触れ」(琵琶のお話しや琵琶曲を)「聴く」機会を提供し、夏休み中には「こども伝統文化体験教室」や終戦記念日前日に「平和への祈り」も開催した。

①期 間 令和4年4月23日(土)~令和5年3月5日(14回各1時間程度実施)

②場 所 熊本市市民活動支援センターあいぽーと会議室

③内 容 ◆琵琶のお話し(琵琶の起源・種類・特長・奏法・音色)

◆演奏体験

◆琵琶楽鑑賞(会員による平家物語や郷土に関する物語等の演奏披露)

④参加料 無料

⑤広 報 R4.5.21 熊本地震復興祈念筑前琵琶のしらべ公演の際、入場者へ事業案内、5/22 及び8/15 熊日新聞とぴつく欄に熊本市あいぽーとでの●ワークショップ「琵琶楽に親しむ」5/16・演奏会「平和への祈り」8/14 として紹介記事掲載、熊本の文化情報誌ドコサ掲載8月号掲載、あいぽーと熊本市立公民館、くまもと県民交流館パレ

ア等にチラシ設置、愛好者等へ案内 72 名

⑥その他 アンケート実施。別添資料のとおり。5/16日は、ワークショップに参加いただいたくまもと全国邦楽コンクール出場者の尺八演奏も披露された。

3 会員による琵琶楽演奏会 参加者 25 名

日頃、琵琶曲習得に勤しむ会員の演奏力向上や後継者の育成を図るため、成果を発表する場を設けることにより、今後の事業展開に生かす。

①日 時 令和4年10月22日(土) 14時～15時30分

②場 所 くまもと県民交流館パレア10階和室

③内 容 演奏者6名による龍神琵琶・肥後琵琶・筑前琵琶等の披露。

曲目(龍神琵琶)「龍神祝詞/蜘蛛の糸/薩摩調田原坂」、(肥後琵琶)「石童丸」、(筑前琵琶)「耳なし芳一」、(箏伴奏)歌いましょう「小さい秋みつけた/里の秋」、(筑前琵琶)「熊本城/若き敦盛」

④参加料 無料

⑤広 報 R4.5.21 熊本地震復興祈念筑前琵琶のしらべ公演の際、入場者へ事業案内、新聞社への公演掲載(9/30)や熊本の文化情報誌ドコサ10月号掲載、あいぽーと熊本市立公民館、くまもと県民交流館パレア熊本市内の公立文化施設等にチラシ 247 枚設置、愛好者への案内 59 名

⑥ アンケート実施。別添資料のとおり。

4 ボランティア演奏活動

会員が熊本市内の介護老人保健福祉施設等を訪問し、高齢者の皆様に琵琶の音色に合わせ懐かしい童謡を歌っていただいたり、琵琶曲や琵琶のお話を聴いていただくことにより、心の安らぎや楽しさ、明日への元気付けとなるよう演奏活動を行った。また、新型コロナ感染状況の拡大等(第6・7・8波)の影響により、訪問活動が制限されたため、一部の訪問活動を感染リスクが少ないDVD配布による施設での観覧依頼により実施した。

	訪問6施設29回 790名、DVD利用 34施設90回1, 333名 ①広報R4. 5. 21熊本地震復興祈念筑前琵琶のしらべ公演の際、入場者へ事業案内
実施場所	1熊本市国際交流会館大ホール 2熊本市市民活動支援センターあいぽーと会議室 3くまもと県民交流館パレア和室 4 熊本市内介護老人保健福祉施設等
協力団体	孝女白菊の里づくりの会
事業の効果 ・公益性	①熊本地震からの更なる復興・復旧に向けての機運を醸成し、熊本地震の記憶や教訓を次代に継承していくうえに、コロナ禍の中、邦楽単独ではありましたが、熊本地震復興祈念の公演を開催したことは、邦楽の文化的要素のみならず社会的にも大きな意義があり、また、高齢者施設等でのボランティア演奏活動やDVD視聴により、高齢者の生きがい等社会貢献に資する公益性のある事業だったと思料します。 ②各事業の実績を通じ、熊本市民の皆様方等に日本の歴史や古典文学作品及び郷土を題材とした琵琶曲等の演奏や講話等により、琵琶楽のみならず広く伝統文化の良さや大切さを理解していただいたと思料します。 ③当該助成の交流会を通じ、くまもと邦楽会館及び子育てネットワーク「縁側moya i」様からの御依頼もあり、若年層者へ積極的に取り組み、波及効果が得られたと思います。
次年度以降 の 事業展望	当会の活動(R4. 10. 22「会員による琵琶楽演奏会」)とあいまって、県内(R4. 11. 19肥後琵琶乃会主催/肥後本妙寺拝殿「令和の世に語り継ぐ妙音」)や県外(令和3・4年日本琵琶楽コンクール1位入賞者2名を含む若い演奏家有志7名の企画(R4. 12. 18一般社団法人八女国際交流協会主催/八女市民会館「生を奏でる」、NPO法人筑前琵琶連合会主催の新進若手演奏会(R5. 2. 26福岡県立大濠公園能楽堂)が行われるなど琵琶楽の魅力づくりへの兆しを感じられたのも近年にない出来事で、琵琶楽の将来に向け心強く感じられました。

	九州内の演奏会情報を的確に把握し、NPO法人の演奏会の誘致や九州に伝わる各琵琶楽(薩摩琵琶/筑前琵琶/肥後琵琶等)の継承に励む若い演奏家らが一堂に会し熊本市民の皆様には披露する機会を設ける等、効果的な開催を企画したり、第27回くまもと全国邦楽コンクール(R4.6.12熊本市民会館)への琵琶部門の応募がなかったため、後継者の育成や支援を図り、次年度以降の応募につなげられたらと思っています。 また、当会は、ボランティア活動も主体的に行って来たところであり、節目の際や他団体との交流会を兼ねた演奏会も企画して参りたいと思います。
事業への想い (当事業によってどのような熊本市にしていきたいか)	これからも、伝統文化の継承に向け、市民の皆様が気軽に琵琶楽に親しんでいただけることを基本に、あいぽーと会議室での「ワークショップ琵琶楽に親しむ」に工夫を凝らし取り組むとともに高齢者施設等へのボランティア演奏活動を地道に積み重ねて参りたいと思います。また、県内外の皆様には熊本地震からの県内の被災地の復興のシンボルとして熊本城が修復されて行く雄姿(2052年完全復旧まで30年)を身近に感じていただきつつ、1919年(大正8年)に筑前琵琶熊本旭会を創設された島田眞富氏作詞の「熊本城」(熊本城の威容さと加藤清正公の偉業を讃える)をはじめ琵琶楽を鑑賞いただく機会を創出(例;熊本城関連で令和9年は西南戦争から150年の節目)して行くことで、歴史や文化の息づく熊本市の都市形成に寄与して参りたいと思います。